

沖縄県飲酒運転根絶条例

～平成21年10月1日施行～

飲酒運転の根絶を図るために、「沖縄県飲酒運転根絶条例」の制定趣旨にもありますように、県民ひとり一人が「飲酒運転をしないさせない許さない」社会環境の醸成に向けた取組が重要です。

沖縄県飲酒運転根絶条例骨子

この条例は、県及び県民等が一体となって飲酒運転の根絶を図り、飲酒運転のない安全で安心な県民生活を実現することを目的とします。

- ◆県民は家庭や地域、職場で飲酒運転根絶の取り組みに努める
- ◆公職にある者は範を示すべき立場を深く自覚し、飲酒運転根絶に率先して取り組む
- ◆事業者は従業員に対し、飲酒運転根絶に関する教育、指導その他必要な措置を講ずるよう努める
- ◆飲食店、駐車場所有者は、飲酒運転防止呼び掛けの文書掲示に努める
- ◆公安委員会は、再発防止の措置として飲酒運転をした者や、その者に酒類提供した飲食店等に対し必要な措置を講ずるものとする
- ◆県は、飲酒運転をした者及びその家族等からの相談に対して、再発防止のための助言その他必要な措置を講ずるものとする
- ◆公安委員会は、飲酒運転事故件数や違反者数などの情報を市町村別に作成し、インターネットなどで公表できる
- ◆県は、総合的な施策推進の基本方針を策定
- ◆根絶運動の日を毎月1日と定める

アルコールの処理にかかる時間

飲んだアルコールが肝臓で分解され、体外に排出されるまでには、予想外に時間がかかります。体内でのアルコール処理は、体重1kgにつき、1時間で0.1グラムという速度です。たとえば体重60kgの人がアルコール20グラムを処理するには3~4時間かかります。これはあくまでも目安です。日頃から飲み過ぎがたたって肝臓が弱っていたり、風邪薬を飲んでいたりすると、アルコールの処理はもっと時間がかかるかもしれません。

一晩寝たから大丈夫では とおりません!

知っていますか?二日酔い
それぞれのアルコール1単位の目安



チュウハイ
1単位:350ml
アルコール度:7%



泡盛
1単位:100ml
アルコール度:25%



ビール
1単位:500ml
アルコール度:5%



1単位のアルコールが抜ける(分解される)には、約4時間かかります。

左のように3単位飲むと....

8時間寝たからといってアルコールが身体で分解されるのは2単位分です。

アルコールに関する正しい知識を!

つまり翌朝は1単位残っている
二日酔い状態なのです。

睡眠8時間
アルコールは徐々に分解



酒酔い運転 免許取り消し(次格期間3年)

酒気帯び運転 0.15~0.25mg/l:免許停止90日
0.25mg以上/l:免許取り消し(次格期間2年)

お酒を飲むときは翌日の仕事を考えて、寝ている間にアルコールが分解される適度の量を飲みましょう。

沖縄県交通事故相談所

交通事故でお困りの方は、沖縄県交通事故相談所へ

相談日 月曜日~金曜日(祝祭日を除く) 相談時間 8:30~17:15



秘密厳守
無料

本所:沖縄県南部合同庁舎5階
(那覇バスターミナル向かい)

TEL.098-866-2185

中部支所:沖縄県中部合同庁舎4階
(県中部保健所裏)

TEL.098-939-7512